

# 図書案内

2022年 5月号

担当 3-1 松山 3-5 渡邊

## こどもが活躍する本

風薫る5月になりました。太陽の光が緑にきらめく季節です。中部高校生の皆さんは、ゴールデンウィークは何をして過ごしましたか？1年生の皆さんは中部高校の生活に慣れてきた頃だと思います。

今月は、5/5の「こどもの日」にちなんで、『こどもが活躍する本』を集めました。本を読んで過ごした人も、部活や勉強で忙しかった人も、同年代の活躍を本から感じてみてはいかがでしょうか？

図書館にて貸し出しています。

## 『銃とチョコレート』／乙一

ある日主人公の少年リンツは、父の形見の聖書から古びた手書きの地図を見つける。同時期にリンツが住む国では、富豪の家から金品が盗まれる事件が多発していた。事件現場に残されている“GODIVA”カードと地図の関係に気付いたリンツは、地図が事件のカギを握ると確信し、怪盗ゴディバを追う探偵ロイズに手紙を出すのだが・・・。

正統派冒険ミステリー！ぜひ貴方もビターチョコレートのように濃厚で、ちょっぴりダークな物語を味わってみてはいかがでしょうか？読む際はチョコレートを用意することをおすすめします。（渡邊）

「これがもうひとつの予想外なできごとだよ。いや、頭のどこかでは予想していたというべきか・・・」



## 『罪の声』／塩田武士

35年前に未解決のまま時効を迎えた劇場型事件「ギンガ・萬堂事件」。新聞記者の阿久津は、文化記者ながら昭和の未解決事件を特集することとなった。

一方、テラーを営む曾根は、父の遺品のカセットテープから、自分の声が「ギンガ・萬堂事件」で使われたという事実気が付き、独自に事件を追っていく。

自分が事件を解決したかのような達成感を味わえた一冊です。（松山）

額から流れ出る汗にも気づかず、俊也は天を仰いだ。これは、自分の声だ。

## 『氷菓』／米澤穂信

省エネの高校生、折木奉太郎はひょんなことから神山高校「古典部」に入部することとなり、同じく部員の千反田えるの好奇心に振り回される日常を送ることになってしまう。やがて「古典部」は、学園にまつわる謎に挑むが・・・。

神山高校「古典部」を舞台とする青春ミステリー！高校の謎や、タイトル『氷菓』の意味を主人公らと推理してみてもいいでしょう。アニメ版や映画版とは異なる設定にも注目してお楽しみください。（渡邊）

「ええ、そうです・・・・・・わたし、気になります」



## 『おおかみこどもの雨と雪』／細田守

大学生の花は人間の姿で暮らす「おおかみおとこ」と恋に落ち、人間とおおかみの2つの顔を持つ「おおかみこども」の姉弟を授かる。4人は、都内でひっそりと幸せに暮らしていたが、突然おおかみおとこが死んでしまった。悲しみの中、花は姉弟を連れ田舎町への移住を決意する。2人の子どもはすくすく成長していくと同時に、自身の将来に悩み始める。

富山県が舞台となった本作、涙なしでは読めない感動の一冊です。（松山）

「やがて雨は、心の奥底に潜む本当の問いに行き着いた。」



## 子どもファーストな省庁誕生！？

皆さんは、2023年発足予定の「こども家庭庁」をご存じですか。子どもに関する政策や取り組みを推進し、子どもが健やかに成長できる社会の実現に向けた司令塔となる「こども家庭庁」。組織は3つの部門に分かれています。1つめは、「企画立案・総合調整部門」。これまで各省庁が別々に行ってきた子ども政策を一括して調整します。2つめは「成育部門」。子どもの安全安心な成長に関する事務担います。そして3つめは「支援部門」。自動虐待やいじめ、ひとり親家庭など、さまざまな困難を抱える子どもや家庭の支援にあたります。子どもの視点や子育ての当事者の視点に立った政策の立案を掲げており、他の省庁との連携を強めていく姿勢です。これから私たちの生活に深く関わってきそうな「こども家庭庁」。今後の動向に注目です。

【出典】NHK NEWS WEB (<https://www.3nhk.or.jp/news/html/20211221/amp/k/00/3397131000.html>)